

金ヶ崎町上下水道事業告示第7号

公営企業の業務の状況の公表について

「財政事情」の作成及び公表等に関する条例第4条の規定により、金ヶ崎町下水道事業にかかる業務の状況について、下記のとおり公表する。

平成30年5月31日

金ヶ崎町長 高橋 由一



- 1 公表する事項 平成29年度下期下水道事業業務状況
- 2 閲覧場所 金ヶ崎町水処理センター

平成 29 年度下半期下水道事業経営状況

I. 処理水量について

1. 下期全体水量は 590,089 m³で、前年度同期（605,115 m³）に比べ 2.5%減少しています。上半期は前年度より 1.0%増加しましたが、下半期は全体的に前年度を下回る使用状況でした。全期の水量は 1,215,224 m³となり前年度 1,227,531 m³に比べ 4.8%減少しています。
2. 公共下水道事業の処理水量については 371,611 m³で、前年度同期（384,360 m³）に比べ 3.3%減少しています。全期では 765,628 m³であり前年度 775,698 m³に比べ 1.3%減少しています。
3. 農業集落排水事業の処理水量については 192,671 m³で、前年度同期（194,458 m³）に比べ 0.9%減少しています。全期では 398,332 m³であり、前年度 399,993 m³に比べ 0.4%減少しています。
4. 浄化槽事業については 25,807 m³で、前年度同期（26,297 m³）に比べ 1.9%減少しています。全期では 51,264 m³となり、前年度 51,840 m³に比べ 1.1%減少しています。

区 分	公共下水道		農業集落排水		浄化槽		計	
処理有収水量 (m ³)	下期	371, 611	下期	192, 671	下期	25, 807	下期	590, 089
	全体	765, 628	全体	398, 332	全体	51, 264	全体	1, 215, 224
前年処理有収水量 (m ³)	下期	384, 360	下期	194, 458	下期	26, 297	下期	605, 115
	全体	775, 698	全体	399, 993	全体	51, 840	全体	1, 227, 531
増 減 (m ³)	下期	△12, 749	下期	△ 1, 787	下期	△ 490	下期	△ 15, 026
	全体	△10, 070	全体	△ 1, 661	全体	△ 576	全体	△ 63, 915
前年比 (%)	下期	96. 7	下期	99. 1	下期	98. 1	下期	97. 5
	全体	98. 7	全体	99. 6	全体	98. 9	全体	95. 2

II. 財政状態について

1. 収益的収入及び支出（税抜き）

（1）営業収益

下期営業収益は 124,539 千円で、全期では 256,939 千円となり予算に対する執行率は 100.2%となっています。

(2) 営業費用

下期営業費用全体では 334,254 千円で、全期では 623,514 千円となり予算に対する執行率は 96.5%となっています。

(3) 営業外収益

下期営業外収益は 117,312 千円で、全期では 599,016 千円となり予算に対する執行率は 100.1%となっています。

(4) 営業外費用

下期営業外費用は 95,503 千円で、全期では 144,250 千円となり予算に対する執行率は 98.9%となっています。

(5) 経常利益

下半期の経常利益は△189,732 千円となっております。これにより平成 29 年度決算では 83,842 千円の純利益を見込んでいます。

2. 資本的収入及び支出 (税込み)

主な建設改良費の支出状況は次のとおりです。

農業集落排水永南地区電気機械設備機能強化対策工事	9,720,000 円
公共下水道街地区污水管長寿命化対策工事	11,178,000 円
公共下水道杉土手地区下水管布設工事	5,830,920 円
町営浄化槽設置工事 (5 基)	6,032,880 円

平成29年度 損益計算書

収益的収入及び支出

(消費税抜き) (単位:千円)

科 目	平成29年度上半期		平成29年度下半期		平成29年度全期		平成28年度全期		前年比
	金 額	構成費	金 額	構成費	金 額	構成費	金 額	構成費	
営業収益	132,400	100.0	124,539	100.0	256,939	100.0	—	—	皆増
下水道使用料	132,400	100.0	124,539	100.0	256,939	100.0	—	—	皆増
その他の営業収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	—	—	皆増
営業費用	289,260	100.0	334,254	100.0	623,514	100.0	—	—	皆増
管渠費	6,311	2.2	8,412	2.5	14,723	2.4	—	—	皆増
処理場費	15,090	5.2	27,416	8.2	42,506	6.8	—	—	皆増
浄化槽費	2,033	0.7	3,072	0.9	5,105	0.8	—	—	皆増
総係費	9,100	3.1	27,849	8.3	36,949	5.9	—	—	皆増
流域下水道管理費	40,958	14.2	45,584	13.6	86,542	13.9	—	—	皆増
減価償却費	215,768	74.6	218,669	65.4	434,437	69.7	—	—	皆増
資産減耗費	0	0.0	3,252	1.0	3,252	0.5	—	—	皆増
営業利益	△ 156,860	—	△ 209,715	—	△ 366,575	—	—	—	皆増
営業外収益	481,704	100.0	117,312	100.0	599,016	99.9	—	—	皆増
受取利息及び配当金	2	0.0	1	0.0	3	0.0	—	—	皆増
他会計負担金	380,630	79.0	0	0.0	380,630	63.5	—	—	皆増
他会計補助金	16,955	3.5	0	0.0	16,955	2.8	—	—	皆増
長期前受金戻入	84,116	17.5	117,033	99.8	201,149	33.6	—	—	皆増
雑収益	1	0.0	278	0.2	279	0.0	—	—	皆増
営業外費用	50,747	100.0	93,503	100.0	144,250	100.0	—	—	皆増
支払利息及び企業債取扱諸費	50,376	99.3	90,325	96.6	140,701	97.5	—	—	皆増
雑支出	371	0.7	3,178	3.4	3,549	2.5	—	—	皆増
経常利益(△損失)	274,097	—	△ 185,906	—	88,191	—	—	—	皆増
特別利益	0	—	0	—	0	—	—	—	皆増
過年度損益修正益	0	—	0	—	0	—	—	—	—
その他特別利益	0	—	0	—	0	—	—	—	—
特別損失	523	—	3,826	—	4,349	—	—	—	皆増
手当	523	—	—	—	523	—	—	—	皆増
過年度損益修正損	0	—	0	—	0	—	—	—	—
その他特別損失	0	—	3,826	—	3,826	—	—	—	皆増
予備費	0	—	0	—	0	—	—	—	—
当年度純利益(△純損失)	273,574	—	△ 189,732	—	83,842	—	—	—	皆増
前年度繰越利益剰余金	0	—	0	—	0	—	—	—	—
その他未処分利益剰余金変動額	0	—	0	—	0	—	—	—	皆増
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	273,574	—	△ 189,732	—	83,842	—	—	—	皆増

比較貸借対照表

科 目	平成28年度		平成29年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比
固定資産	-	-	12,906,910	98.6	皆増
有形固定資産	-	-	12,471,459	95.3	皆増
土地	-	-	39,100	0.3	皆増
建物	-	-	88,593	0.7	皆増
構築物	-	-	12,051,028	92.0	皆増
機械及装置	-	-	292,674	2.2	皆増
車両運搬具	-	-	64	0.0	皆増
無形固定資産	-	-	434,323	3.3	皆増
施設利用権	-	-	429,912	3.3	皆増
電話加入権	-	-	4,411	0.0	皆増
投資その他資産	-	-	1,128	0.0	皆増
基金	-	-	1,128	0.0	皆増
流動資産	0	0.0	185,390	1.4	皆増
現金預金	-	-	175,624	1.3	皆増
未収金	-	-	10,216	0.1	皆増
未収金貸倒引当金	-	-	△ 450	0.0	皆増
資産合計	-	-	13,092,300	100.0	皆増
固定負債	-	-	7,059,466	53.9	皆増
企業債	-	-	7,059,466	53.9	皆増
流動負債	-	-	702,941	5.4	皆増
企業債	-	-	582,667	4.5	皆増
未払金	-	-	118,521	0.9	皆増
引当金	-	-	987	0.0	皆増
預り金	-	-	766	0.0	皆増
繰延収益	-	-	4,867,025	37.2	皆増
長期前受金	-	-	5,068,175	38.7	皆増
長期前受金収益化累計額	-	-	△ 201,150	△ 1.5	皆増
資本金	-	-	361,399	2.8	皆増
固有資本金	-	-	361,399	2.8	皆増
剰余金	-	-	101,469	0.8	皆増
資本剰余金	-	-	17,627	0.1	皆増
国庫補助金	-	-	3,128	0.0	皆増
県補助金	-	-	14,499	0.1	皆増
利益剰余金	-	-	83,842	0.6	皆増
当年度未処分利益剰余金	-	-	83,842	0.6	皆増
(うち当年度純利益)	-	-	83,842	0.6	皆増
(当年度未処理欠損金)	-	-	0	0.0	
負債資本合計	-	-	13,092,300	100.0	皆増

平成30年度金ケ崎町下水道事業会計予算編成方針

1. 基本方針

生活環境及び公衆衛生のため整備した公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽事業は、昨年度からこの3つの事業会計を一本化し下水道事業会計として地方公営企業法を適用し企業会計へ移行しました。企業会計へ移行により下水道事業の経営状況及び財務状況を明確にし、事業効率の向上、下水道施設の長寿命化、町民への説明責任に努めながら、健全かつ持続可能な下水道事業を目指します。

下水道事業は今後、人口減少等による料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれ、経営環境が厳しさを増してきます。さらに、下水道事業の借入金の返済についても長期にわたり厳しい状況にあります。

こうした中で、住民サービスを将来も安定的に提供していくためには、中長期的な視点に立った経営基盤の強化が必要であり、金ケ崎町下水道事業経営検討委員会からの提言を基に、料金改定も含めた経営改善策について検討を進めてまいります。

2. 重点事項

- (1) 衛生的で快適な生活が持続できるように施設の適正な管理を進め、下水道施設・設備の計画的修繕や更新を進めます。
- (2) 下水道施設を後世まで長く安定的に管理運営を行うため、長期にわたる企業債償還金を行いながら、維持管理及び施設の更新事業の財源確保対応及び料金改定も含めた経営改善策を住民に示しながら進めてまいります。
- (3) 下水道普及と接続率向上を推進し、町民の生活環境や公衆衛生の向上及び経営のための収入拡大を図ります。

3. 具体的な取り組みと目標

- (1) 下水道施設の維持管理の効率化や長寿命化を促進し、「公共下水道長寿命化計画」、「農業集落排水施設最適整備構想計画」に基づき国の補助制度を活用しながら施設の適正な更新整備を進めていきます。
- (2) 下水道事業の経営の健全化を図るため設置した金ケ崎町下水道事業経営検討委員会の意見を集約し、経営改善策を取り纏めて昨年度策定した「下水道事業中期経営計画書（案）」の施策を基に、下水道事業の持続的・安定的な管理運営に努めます。
- (3) 下水道普及と接続率向上のため、浄化槽整備推進委員会などと協力し普及拡大を図り、また、9月10日「下水道の日」、10月1日「浄化槽の日」に合わせ、町建設業協会の協力により下水道パンフレットの配布、無料工事見積等の普及活動や、定住促進に関わる情報収集・発信を実施し接続率の向上に努めます。